

◆ 条例改正等の主な審議

知立市税条例の施行日の延期

問 消費税10%増税前提の条例は、施行期日が再度延期となる。アベノミクスをどう見るか。

答 政府が経済情勢を見て思ったより悪いため延期。可処分所得が増えず、企業業績は良いが、トリクルダウンがうまくいかない。消費喚起される政策が必要。

主任保育士の任意設置

問 主任保育士の役割は重要。設置義務を基準もなく外すのは問題。待機児問題こそ重要では。

答 逢妻保育園は園児が少なく当面、主任を外す。当園の3歳未満児保育の実施は引続き検討。

介護保険条例の改正の問題

問 介護認定審査会委員の定数をなぜ30人から2人増やすか。

答 平成22年から32人である。予算の範囲内でやってきたが、条例と違った運用であり改正。大変申し訳ない。

知立市消費生活センター

問 条例制定の背景とこれまでの相談実績、今後の相談体制は。

答 法改正で5万人以上の市に

指定金融機関の指定

問 設置が求められ、6月に設置。西三河プラザは30年度で廃止。市の相談日は4月から週4日に。相談員は2人で交代制。直通電話も引く。27年度の相談実績は市へ23件、プラザへ218件だった。

問 岡崎信用金庫を指定するが、コンペ方式になぜ変わったか。

答 3行のコンペ方式は5回目。輪番制より手数料など競争性が働き、利便性、経済性を考慮。手数料は年間183万円と低額に。

◆ 平成28年度補正予算

ミニバス運営事業

問 ミニバス調査分析とは

答 総合公共交通会議を29年度設置し、30年度に交通網形成計画を策定のため、ミニバスについて市民の利用状況、満足度など調査・分析した。今後、基礎調査で利用者にも調査する。



問 「知立老健」前のバス停は乗降に危険。敷地内に移設しては。老朽化した車両の更新や知立駅のバス待機時間が長い点等の見直しは。

答 施設の協力があれば可能。車両の更新等は今後の検討課題。

鉄道高架事業費の大幅減額

問 仮線工事の遅れは心配だが今後は。学童に危険な踏切対策は。

答 事業を大きく見込んだため進まず減額。28年度までの計画が遅れたが全体の遅れはない。学童の安全対策を早速検討する。

◆ 平成29年度予算

知立市の自主財源

問 個人市民税は50億円の見込みで大きい。上重原蔵福寺、鳥居地区の整備が進めば人口増加で市税の増収が見込まれるが。

答 個人市民税は市税の根幹、固定資産税も重要で増加が見込める。子どもを産み育てやすい環境を作ること人口が増加し、税収も増えるので大事な点だ。

防災士養成事業

問 資格取得に掛る日数、費用は。1人15万円補助の目的は。

答 6万円で講習2日と後に試験で資格取得する方法などがある。10人分15万円を予算化。受講者が増えれば対応する。地域の防災ネットワークにつなげた。年齢制限はない。

総合防災訓練マンネリ化

問 仮設のラウンドアバウトがあり、停電時の交差点の実証実験として取り入れてはどうか。

答 自主防災連絡協議会等でも示し、検討してみたい。

産後ケア事業

問 期待される新事業、内容は。

答 出産後、支援してもらえない家族がいない場合、産院等での宿泊ケアやシルバー人材センターによる家事支援に助成する。

ユネスコ無形文化遺産登録

問 記念事業の計画は。

答 5月3日に西町公民館横で山車文楽・からくりを上演、11月12日は五ヶ町の山車での上演を予定している。

下水道の接続率

問 接続推進の方策は。

答 対象世帯に手紙を出し成果があった。さらに、各戸訪問し、趣旨の理解を求めて行く。

※1 トリクルダウン……大企業や富裕層を豊かにすることで国全体の利益になるという理論  
 ※2 ラウンドアバウト……信号機のないドーナツ型の環状交差点